

大好き☆出雲! 茶屋 in ゆめタウン出雲を開催 2月23日(日)・24日(月)



出会い、ふれあいを大切に!

出雲ブランド化推進市民委員会では、出雲の魅力再発見の取組を進めるため、多くの市民が集まる場所で、出雲らしくお茶をふるまい、交流しながら、出雲ブランド商品も集めた展示会を開催しました。



会場で

伝えたい・残したい“出雲弁”をアンケートで教えていただきました。

平成25年の流行語大賞にも選ばれた「じぇじぇじぇ」は、岩手県久慈市小袖地区の「驚き」を表す方言です。一方、「出雲」の言葉“出雲弁”は、独特の言い回しと優しい響きで、土地柄も表す出雲ブランドの一つです。“出雲弁”は、子どもたちや地域の皆さんを元気にしたり、観光客への素敵なおもてなしとなる言葉です。

伝えたい“出雲弁”第1位

だんだん (意味:ありがとうございます。)



「だんだん」は、回答280語のうち4割を超えて選ばれ、子どもにも観光客にも伝えたいダントツの第1位でした。小学生から80歳代の方までの幅広い層から寄せられたコメントの一部を紹介します。

- ◆温かい響きに、気持ちがかもっていて好きです。子どもにも使ってもらいたいです。
- ◆出雲の人はいつも感謝を忘れず、会うたびに「べったー、べったー、だんだん。」などのあいさつをします。そんな出雲の人が好きで、そうなりたいと思っています。◆「だんだん」を聞くと、優しいおばあちゃんを思い出す。
- ◆(県外から出雲に移って)人々が温かく親切なので、本当にうれしいです。

多くの回答にあったのは?

ばんじまして (意味:夕方になりました。(夕方のあいさつ))

心がホットする響きがある。子どもの時から好きな言葉です。他の県にはない夕方の挨拶として、とても素敵だと思います。

この言葉も大好き!

おちらとして (意味:ゆっくりとして)

ゆっくり過してくださいという旅人への気遣いの言葉。

～だにいー。だがあー。～してごさいた。 (語尾)

出雲弁は語尾がとっても優しいと思います。小さな子も使っています。

あげ、こげ、そげ、どげ

(意味:あのよう。こう。そう。どう。)

はっきりと言いたいことも、やんわりと伝えることができるような気がします。

たばこ(すー)。

(意味:休憩(する)。)

家族でお茶するときには、「たばこすーか。」が合図です。なごみます。

おんぼらと (意味:ほんわかとした。おだやか。)

時間に追われる毎日ですが、少しでも“おんぼらと”過ごす時間を持ちたい。

まめ(なかね。) (意味:元気(ですか?))

相手をいたわる言葉だと思います。

てご (意味:手伝い)

手伝うという意味なので、協力したり助け合う心を大切にしてほしい。

※意味は、出雲弁に関する出版物等から代表的なものを引用しています。

■大好き☆出雲! ロゴマークパッチ販売中 200円 (4月1日から価格改定しました。)

市役所売店(ふたばショップ)、吉兆館、出雲市文化観光案内所(アトネスいずも内)、出雲弥生の森博物館で販売中

おたすね / 出雲ブランド化推進市民委員会(大好き☆出雲!倶楽部)事務局 出雲ブランド室 ☎21-6274